

# 平成12年度宝くじ助成事業成果概要

企画・広報部

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、河川空間の種々の機能に対する期待と要請が一層増大している。

このため、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、水辺空間整備の活発な展開を図るため、事業への理解、効果、必要性等の広報活動を通じて、河川愛護意識の普及を図っていくことが必要である。

(財)日本宝くじ協会からの助成事業による水辺広報活動は、昭和62年度からスタートし、平成12年度は57,650千円の助成金を受け水辺空間に関する広報と併せて宝くじ事業の公益性に関する一般の方々の理解を深める目的で事業を実施している。

## 1. 水辺施設の設置

水辺施設は良好な水辺空間形成の一環として、水辺空間の快適性や豊かな自然環境が向上することを目的に、市町村を対象に公募し、水辺選定委員会に諮り選定された3ヶ所に設置した。その内訳は、アメニティ施設2ヶ所、水辺自然環境施設1ヶ所であり、その内容は以下のとおりである。

アメニティ施設 2ヶ所

利根川(茨城県取手市): 利根川サイクルステーション

太田川(長野県信州新町): ふれあい広場“津和の里”

水辺自然環境施設 1ヶ所

中里川(宮城県石巻市): 中里川ビオトープ

## 2. パンフレット等の作成

パンフレット等は、次の6点を作成し、国、地方自治体及び民間団体等に配布した。

「ふるさとの川をつくり育てる」の作成

「汀に遊ぶ、想う、営む」をテーマとしたカレンダーの作成

「RIVER FRONT Vol.38, 39, 40」の作成

「FRONT 9月号」の増刷

「市民団体との連携方策のあり方について」の作成

「魚類のそ上降下環境改善上のワンポイントアドバイス」の作成

平成13年度も昨年度に引き続き宝くじ助成金を受け、パンフレット等の作成と水辺施設の設置を実施し、水辺空間整備に関する広報活動事業を行う計画である。水辺施設は、昨年の12月から2月にかけて募集し、3月に水

辺選定委員会に諮り、その結果、東京都日野市、福島県福島市及び新潟県六日町の3箇所が選定された。応募にご協力いただいた市町村に対し、感謝申し上げます。



写真-1 アメニティ施設  
利根川(茨城県取手市): 利根川サイクルステーション



写真-2 アメニティ施設  
太田川(長野県信州新町): ふれあい広場“津和の里”



写真-3 水辺自然環境施設  
中里川(宮城県石巻市): 中里川ビオトープ